

シラバス

授業科目	コミュニケーション		
(英文名)	Communication		
担当教員	田中正孝 他		
単位数(期別)	△2(前)	対象学生	2P

■授業のねらい・概要■

グループワークトレーニングを通じて相手の気持ちを理解し、対人コミュニケーションの基本的なスキルを身につける。幼児・高齢者との交流を通してコミュニケーション能力を培うと同時に、他者に対する自己の役立ち感に気づいて、自己肯定感・自尊感情を育んでホスピタリティを培う。[A(3)]

■授業(学習)の到達目標■

1. 自分の特徴を知ることによって、自己を表現することができる。
2. 相手の気持ちを理解する「話の聴き方」をすることができる。
3. 自分が他者に対して役立っていることを実感することができる。
4. 今の自分を認めて受容し、自分を大切にすることができる。
5. ハンディキャップ体験を通じて他者への心配りを体験することができる。

■回数ごとの授業内容■

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 コミュニケーションと自己理解(菅) | 11 幼児・高齢者との交流学習(8) |
| 2 気づきの体験学習(菅) | 12 交流学習まとめ(田中、各施設担当教員) |
| 3 交流学習オリエンテーション(田中) | 13 ハンディキャップ体験(田中) |
| 4 幼児・高齢者との交流学習(1) | 14 総括 |
| 5 幼児・高齢者との交流学習(2) | |
| 6 幼児・高齢者との交流学習(3) | |
| 7 幼児・高齢者との交流学習(4) | |
| 8 幼児・高齢者との交流学習(5) | |
| 9 幼児・高齢者との交流学習(6) | |
| 10 幼児・高齢者との交流学習(7) | |

※幼児・高齢者との交流学習(1)～(8)については、担当教員(田中(正)、小野、吉富、福長、鶴田、岡村、田中(哲)、大橋、田村、小嶋、町支、井上、五郎丸(剛)、安楽、土谷、菅、松岡)が分担して各施設の引率にあたる。

■成績評価の方法・基準■

態度、レポートなどで評価する

■使用テキスト■

授業の中で指定します

■参 考 書■

なし

オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日)	随時(月曜日～金曜日)
----------------------------	-------------